

## 広島県畜産協会 会員情報 No.2

広島県畜産協会では、平成 23 年度第 2 四半期において、会員の皆様の支援をいただき、次のとおり事業を実施しましたのでお知らせします。

### 【総務関係】

- 平成 23 年 8 月 23 日、10 月 4 日の 2 回、法人移行問題検討会を開催し、社団法人広島県畜産協会の公益社団法人への認定、一般社団法人への認可に向けての方向性をご検討いただきました。

社団法人等の公益法人は、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びにこれらの法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い特例民法法人となり、平成 25 年 11 月 30 日までに広島県が設置する公益認定等委員会に対し公益社団法人または一般社団法人への移行について申請を行い、認定あるいは認可を受ける必要があります。

本会の公益社団法人または一般社団法人への移行については 11 月 28 日開催の理事会において組織協議を行う予定です。

### 【基金事業部関係】

**平成 23 年第 1 四半期補てん金総額：124,797 千円**

- 平成 23 年度第 1 四半期の畜産物の価格安定対策に関する基金の管理と補てん金の交付

#### ①補てん金の交付実績

(単位：頭、円)

区分	肉用子牛生産者補給金制度			繁殖支援	肉用牛肥育経営安定特別対策事業		
	黒毛和種	乳用種	交雑種	黒毛和種	肉専用種	交雑種	乳用種
H22	-	21,800	-	-	-	55,300	35,600
第 4		625				758	825
四半期		13,625,000				41,917,400	29,370,000
H23	-	24,200	-	-	33,200	49,600	51,300
第 1		551			815	835	838
四半期		13,334,200			27,058,000	41,416,000	42,989,400

(上段が補てん金単価、中段が対象頭数、下段が補てん額)

#### ②平成 23 年度 1 頭当たりの生産者積立金 (生産者負担額)

肉用子牛生産者補給金制度

肉用牛肥育経営安定特別対策事業

黒毛和種	乳用種	交雑種
550 円	3,175 円	1.250 円

肉専用種	交雑種	乳用種
13,000 円	25,000 円	18,000 円

なお、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン）については制度が一部変更され、第2四半期は毎月補てんとなっています。

平成23年度から養豚経営安定対策事業（肉豚基金）は（独）農畜産業振興機構からの直接交付となりましたが、平成23年度第1四半期、第2四半期とも発動はありませんでした。

## 【経営指導部関係】

### 1. 地方競馬振興

①福山市営競馬場において冠レースを開催し、地方競馬振興について支援を行いました。

平成23年7月10日 広島県農業共済組合連合会長杯 「しらゆり賞」（来場者先着700名に牛乳を無料配布）

平成23年10月9日 広島県馬事畜産振興協議会長杯 「汐風賞」（来場者先着500名に、東日本大震災復興支援による「食べて応援しよう！」で、東日本地域の畜産特産品（レトルトカレー）の無料配布を行いました。）

②次回は平成24年1月8日（日）開催の広島県獣医師会会長杯「若駒賞トライアル」時に、福山競馬観戦ツアーを実施する予定です。

詳細が決まり次第、本協会のホームページ (<http://www.hiroshima-lin.jp>) に掲載します。

（地方競馬は、畜産農家に対する経営・技術指導事業、家畜の衛生推進事業など、地域の畜産振興に寄与しています。）

### 2. 畜産担当初任者研修会の開催

平成23年7月29日に広島市のJAビルにおいて、畜産担当初任者研修会を開催しました。

この研修は、地域における畜産指導者の養成を目的に、概ね3年以内に新たに各組織において畜産関係部署の担当となった方を対象に、各市町、JA、関係団体より24名の参加をいただきました。

#### 研修カリキュラム

- ・本県の畜産概況、畜産振興施策の重点推進事項について・・・広島県農林水産局畜産課
- ・畜産経営の所得補償・価格補償制度について・・・本協会
- ・農業制度金融について・・・日本政策金融公庫広島支店農林水産事業・本協会
- ・家畜衛生について・・・広島県農林水産局畜産課
- ・畜産経営への支援・指導手法について・・・社団法人中央畜産会

なお、今後のこの研修会の内容については、当日の参加者へのアンケート結果を参考に、来年度も開催します。



### 3. 畜産経営法人化研修の開催

平成 23 年 8 月 9 日、庄原市、北部農業技術指導所などのご協力をいただき、庄原市東城支所において専門家による研修会を開催し、法人化を検討している農家の方や関係者 21 名の参加をいただきました。

テーマ 「畜産経営の法人化を考える」

講師 アグロ・サポート代表 農業経営コンサルタント 志渡和男氏

内容 ・法人化の基礎

・法人化のメリット・デメリット

・資産・債務の取り扱いについて（法人化に伴う税務、経営継承の対応）

なお、研修会の翌日、現地において具体的に法人化を検討している畜産農家の方の個別支援を行いました。

この研修会は、社団法人中央畜産会が実施する農業経営活性化サポート事業を活用して実施しました。事業では専門家等の講師派遣に要する費用（講師旅費、講師謝金）は事業で負担されますので、地域において研修会等を計画される場合は本協会までお問い合わせ下さい。

現在、この事業を活用して研修会・講演会等県内 4 ヲ所で開催されています。



志渡先生の講義風景

畜産協会では畜産農家の法人化について支援や情報提供を行っています。

### 4. 堆肥センター研修会の開催

平成 23 年 9 月 27 日、三次市の広島県三次合同庁舎において堆肥センター研修会を開催しました。

現在、県内に 36 の堆肥センターが設置されていますが、良質な堆肥の生産、利活用、資源循環の推進を図るため、「広島県堆肥センター協議会」を設置し、堆肥センターの運営も含め関係機関の情報の共有化を図っていくこととしました。

なお当日、県庁畜産課より、家畜堆肥の放射性セシウムの残留問題について情報の提供をいただきました。

### 5. 広島県飼料稲活用・普及検討会の設置

本協会内に「広島県飼料稲活用・普及検討会」を設置し、飼料稲の普及拡大を図っています。

なお、この検討会は国産粗飼料増産対策事業（ハイグレード稲発酵粗資料利活用推進）の「広島県国

産粗飼料増産対策地域検討会」として位置づけられています。

6. 今後の研修会等の開催計画（予定）

畜産特別資金等推進指導事業畜産経営改善支援セミナー

開催時期 平成23年12月中旬（日程は未定）

開催場所 三次市内

テーマ 「儲かる肉用牛肥育経営とは？」（仮題）

予定講師 島根県益田市

農事組合法人松永牧場 代表理事 松永和平氏（現在交渉中）

7. 広島県養豚協会

①養豚後継者等視察・研修の開催

広島県養豚協会会員の後継者等を対象に視察・研修を開催します。

日程 平成23年11月4日～5日

視察先 岡山県津山市 有限会社日笠農産

内容 生産から加工・販売までの6次産業の取り組み  
現在、8名の参加が予定されています。

**【経営指導部からのお知らせ】**

飼料成分分析、堆肥成分分析、土壌成分分析を行います。

随時、申込みを受け付けていますので、分析のご希望があれば、経営指導部までご連絡下さい。

内容と経費負担

飼料成分分析：一般分析・発酵品質 10,500円/1検体（サンプリング、送料を含む）

堆肥成分分析：一般分析 10,500円/1検体（サンプリング、送料を含む）

土壌成分分析：一般分析 10,500円/1検体（サンプリング、送料を含む）

分析依頼機関

十勝農業協同組合連合会 農産化学研究所

分析内容の詳細については経営指導部までお問い合わせ下さい。

作成日：平成23年10月31日

**社団法人広島県畜産協会**

〒730-0051 広島市中区大手町4-7-3

経営指導部

基金事業部

TEL(082)244-1783

TEL(082)244-4768

FAX(082)504-0484

FAX(082)504-0484

eメール [e-jan@lin34.jp](mailto:e-jan@lin34.jp)

ホームページ <http://www.hiroshima-lin.jp>